

様式第2号

平成25年度 安曇野市地域包括支援センター運営協議会(第3回) 会議概要

1	審議会名	平成25年度 第3回地域包括支援センター運営協議会
2	日 時	平成26年3月12日(水) 13時30分から15時まで
3	会 場	穂高健康支援センター 問診・計測室
4	出席者	宮澤会長、中村委員、丸山(好)委員、丸山(由)委員、高橋委員、堀内委員、丸山(良)委員、丸山(浩)委員、黒澤委員、山田委員、勝山委員、増田委員、樋口委員
5	市側出席者	飯沼健康福祉部長、場々高齢者介護課長、藤原高齢者福祉係長、西澤介護保険係長、新保介護支援係長、古畑介護予防係長、介護予防係、竹中保健師・酒井保健師、東部地域包括支援センター 藤澤(芳)主任・藤澤(宏)保健師・宮入社会福祉士・平林保健師、南部地域包括支援センター 山岸看護師・岡村社会福祉士・丸山主任、北部地域包括支援センター 渡邊主任・曾根原看護師・佐藤社会福祉士
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成26年3月18日

協 議 事 項 等

1. 会議の概要

会議の概要

1. 開 会

2. 部長あいさつ

3. 会長あいさつ

4. 副会長選出

5. 副会長あいさつ

6. 協議

(1) 地域包括支援センター活動調査結果報告

(2) 委託地域包括支援センターに関するアンケート調査結果について

(3) 平成25年度予防給付ケアマネジメント業務委託先事業所の承認について

(4) 平成26年度予防給付ケアマネジメント業務委託先事業所の承認について

(5) 介護報酬改定に伴う予防給付ケアマネジメント業務委託料の算定(案)について

(6) 南部地域包括支援センター事務室の1階への移転について

(7) その他

7. 閉会

2. 協議内容(協議内容は全て承認されました)

4. 副 会 長：勝山孝子委員となりました。

委員交代：松嶋隆徳委員から増田早苗委員となりました。(役員改選による)

(1) について

樋口委員：地域包括が制度変更することや職員体制の話もあったわけですが、3つのセンターの比較はいいのですけれども、どういうふうにしていくべきかということが見えてこない。また、地域包括ケアシステムの構築や地域包括ケア会議などの充実を図ると言われていますけれども、本当に地域包括支援センターが中心的な役割を担うことが期待されていると思うんですが出来るのかどうか先がみえてこない。この分析だけでよいのか。新庁舎がH27年にできるということですが、包括をどうしていくのか。

部 長：今までこういった調査をしてこなかった。現実はどうなっているのか、業務についてしっかりと分析をしたという最初の段階です。これを毎年やるのか、それとも長い期間とってやるのか。是非ご検討いただきたいと思います。それから委託するかどうかという点で

す。委託が良いなら委託します。費用対効果を考えていきたいと思います。この会でもこれからやるべきことの計画性・継続性を含めて議論していただきたい。

山田委員：ソフトな面について統計をとるのは難しい。ソフト関係の仕事については、ビジネスルールを作る。そういうことをしないと逃げるところに逃げてしまって、本当にやらなければならないところに力を入れていない傾向が出ると思います。

事務局：本当に必要なことならば、本気でやらないといけない。その部分が私達の中でまだしっかりとしていないので、皆さんからのご指導をいただきながら、内部でも詰めてみたいと思います。調査をするということになりましたら、調査の目的や方法を含めて提案させていただいたうえで、しっかりと準備をしたうえですることになるかと思いますが、その節はご指導いただきたいと思います。

丸山(良)委員：初めてのケースであると思う。非常に骨を折ったと思います。いい悪いは別にして、感謝申し上げたいと思います。一番にデスクワークが60%にもなる。簡単にはいかないと思います。

事務局：内部で調整しながら、また、介護保険法で示された規定の様式がありますので、それについてはきちんとやらなければならないと思います。さらにいかに効率よくというところで改善できる部分がありましたら検討していきたいと思っております。

黒澤委員：今回の資料は今までに比べてすごくわかりやすかったです。やるからにはなんのためにこの分析をしなければならなかったのか。どんな目的をもってやっているのかを考える必要がある。

事務局：今までの運営協議会の席で包括についてよりよい業務をしていきたいということ、本来すべき包括の業務をしていかなければならないという話が出てきた中で委員の皆さんから、「時間でみれば」と指摘を受け今回の調査となりました。自分達でまずは現状を知ろうとして、今回10日間ではありますが調査に取り組みました。皆さんのお知恵をお借りして考えていければと思います。今後については「ただ評価すればよい」ということではないということも私達の中にもあります。時間がとられます。やるとしたらしっかりと意味のあるものをするべきだし、また検討しながら進めていきたいと思います。

樋口委員：もうひとつですが、新庁舎ができる中で部が二つに分かれるということ。そこが包括支援センターや予防事業とどうなるのか。そこを知りたい。

部長：組織につきまして、健康福祉部はこの4月から二つに分かれます。ひとつは福祉部もうひとつは保健医療部。包括関連につきましては保健医療部の管轄となります。これで保健と介護予防・支援・介護給付がトータルになりますので、今以上の結び付きになると思います。

樋口委員：わかりました。

会長：ご承認いただけますでしょうか。

各委員：(異議なし)

(2)～(4)について(質疑応答なし。承認。)

(5)丸山(良)委員：この料金が高いのか安いのか妥当なのがよく分かりません。

事務局：委託料についてはそれぞれの市町村によって違います。委託の仕方では事務手数料がどうかかるかということでそれぞれの市町村で違いますので一概にはいえないのですが、近隣と比べて突出して高い・安いはないと思っております。

丸山(良)委員：はい、わかりました。

会長：こんなところでしょうか。その年度、年度であまり変わりすぎてもと思います。今までやってきた比率でやるということでもよろしいのではないのでしょうか。特になければ承認でもよろしいでしょうか。

各委員：(承認)

(6) について

樋口委員：今日初めて図面を見ましたがどうでしょうか。窓口がなければとも思うのですが。

事務局：正面入口すぐの市民福祉課の窓口から包括に抜けるような形になります。

樋口委員：周りの目もあるでしょうし、本当に行きやすいでしょうか。

事務局：スペースがこの場所ならとれるということです。包括も入っての打合せでこの位置となっております。

増田委員：やってみなければわかりませんよ。

部長：賛否はあるかと思えます。包括の皆さんや市民福祉課と協議のうえでこの位置と決まっているようですので、基本的にはこれでやっていただきたいと思っております。不都合については、この形で2年間ですのでその中で徐々にやっていきたいと思っております。

介護保険係長：一番スペース的に空いている、周りからも見られないとのこともありますので。窓口で対応しながら話しあうというよりも、プライバシーの保護からもこの場所でしょうか。

会長：1階がいいと言っていた意見もあったと思えますので、よくご意見を聞いていただいて善処していただければと思います。他の委員の皆さんもそれでよろしいでしょうか。そういうことでこちらについては了承ということをお願いいたします。

各委員：(承認)

(第3回地域包括支援センター運営協議会閉会)